役員挨拶

新執行部副会長就任にあたって

(医)麻の会 首里城下町クリニック第一・第二　田　名　　毅（4期生）

同窓会会員の皆様、こんにちは。この度副会長に再任いただきました４期生の田名でございます。健山先生、増田先生、そして新執行部の蔵下先生と副会長の立場で三代の先生方と仕事をする機会が得られ、大変勉強させていただいております。この間に12年以上の月日が経過しています。同窓会の会員も増え、本医学部の教授はもちろん他大学の医学部の教授も輩出し、また県内の病院においても要職につかれている会員も増えております。学内の教授の先生方とも年齢が近くなっており、以前と比べて同窓会の代表としてお話しやすい状況になってきております。新会長の蔵下先生は大学外の病院勤務であり、私も一開業医であります。最近は医師会関係の仕事も増え、学外の多くの先生方とのネットワークも年々太くなってきています。琉球大学の出身者として学外から学内にエールを送りながら、同窓会全体で医学部及び附属病院を支援していくことが出来るように新執行部の仲間と力を合わせて取り組んで参りたいと思います。

医学科同窓会　副会長に就任して

琉大 医学教育企画室　准教授　屋　良　さとみ（5期生）

琉球大学医学科５期卒業の屋良さとみです。

「医学科同窓会」にはなぜか設立前の準備段階から絡み始め、その後５期生の評議委員になって後、二代目の会計をやや長く（自分でも何年間だったかわからないほどです。）務め、平成25年７月の総会で会長交代の際に“４人の副会長の一人”と承認されました。

現在私は平成24年２月より、医学部の『医学教育企画室』に籍を移し（琉大では元の“第一内科呼吸器びまん性肺疾患グループ”として外来業務は続けています。）、日々学部学生１～６年生のカリキュラム関係、総合試験作り、CBT（Computer Based Testing）・OSCE（Objective Structured Clinical Examination）等の全国学生試験の実施、各学年の各種実習等、学生の医学教育に関するありとあらゆることを推進していく部署に在籍しています。必然的にこれまでの“臨床主体”とはかなり趣の変わった、新しい感覚で日々を過ごさせてもらっています。（３年前の私には予測もついていなかったことですが…）興味深しです…。

よって私の立場としては、日常は『どっぷり琉大医学部医学生に絡み』ながら、その現状・問題点を把握し、同窓会副会長として医学部と医学科同窓会との橋渡しを行いやすい立場にいると思われますので、琉球大学医学部と医学科同窓会の両者が共に発展・進歩していけるよう、日々尽力していきたいと存じます。皆様からのご協力も今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新会長のもとで　～会計２年目をむかえて～

西崎病院　内科　平　良　民　子（10期生）

昨年の総会において会計を拝命いたしました、平良です。増田前会長より声をかけていただき、微力ながら同窓会運営に関わらせていただき、とても有意義な一年でした。同窓会の活動、特に母校、学生に対する支援活動を把握出来たことで、改めて同窓会の存在意義を認識しました。

蔵下新会長のもと、副会長も増員となり、新しい役員体制に緊張と期待で高揚しているところです。正会員数も2600名を越え、この大所帯の会計としての責務に身の引き締まる思いです。まずは財源確保のため会費納入率アップを第一目標に、同窓会の活動を会員の皆様にもっと知っていただけるよう働ければと思います。同窓会は総会や会員名簿の発行だけでなく、学生会員への医師国家試験対策として模試受験料の助成、国家試験対策の講演会の後援、学生向け講演会などの事業などを行っております。前号の南風でも報告がありますので、是非紙面やホームページでご一読下さい。

会員数増加とともに同窓会がますます発展し、会員の親睦はもちろん母校への支援が充実し、そしていつの日か同窓会館が建てられることを夢見て、会計の務めを果たして行きたいと思います。

今後とも同窓会活動へのご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。